



温室効果ガス排出量 検証報告書

2024年7月16日

不二製油グループ本社株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 丸尾 智雅



1. 検証の対象及び目的

不二製油グループ本社株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{*1}における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2023年度データ CO₂排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象において使用された天然ガス、都市ガス、LPガス、軽油、灯油、ガソリンに伴って直接的に排出されるCO₂排出量

2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象における電力、熱の使用に伴って間接的に排出されるCO₂排出量

検証の目的は、事業者のGHG排出量情報が算定方法^{*2}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された2023年度のGHG排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

NOTE:

- ※1：国内：不二製油株式会社 阪南事業所、
不二製油株式会社 千葉工場、
不二製油株式会社 関東工場、
不二製油株式会社 神戸工場、
株式会社フジサニーフーズ
海外：フジオイル（シンガポール）、
ウッドランド サニーフーズ、
パルマジュ エディブル オイル、
不二制油（张家港）有限公司、
天津不二蛋白有限公司、
フジ ベジタブル オイル、
ブラマー チョコレート カンパニー（イースト グリーンビル工場）、
ハラルド、
フジオイル ヨーロッパ、
フジ オイル ガーナ
- ※2：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.6)」及び
事業者が作成した「算定手順書」
- ※3：上記算定対象の検証されたGHG排出量情報は別紙を参照

以上



温室効果ガス排出量 検証報告書

2024年7月19日

不二製油グループ本社株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 丸尾 智雅



1. 検証の対象及び目的

不二製油グループ本社株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果算定結果「2023年度データ CO₂排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ3 カテゴリ1^{※2}において排出されるCO₂排出量

検証の目的は、事業者のGHG排出量情報が算定方法^{※3}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2023 年度の GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

NOTE:

- ※1：国内：不二製油株式会社、
オーム乳業株式会社、
株式会社エフアンドエフ
海外：フジオイル（シンガポール）、
ウッドランド サニーフーズ、
バルマジユ エディブル オイル、
フジオイル（タイランド）、
フレイアバディ インドタマ、
フジ グローバル チョコレート（M）、
不二制油（张家港）有限公司、
不二制油（肇慶）有限公司、
天津不二蛋白有限公司、
巴洛美巧克力製造（上海）有限公司、
フジ ベジタブル オイル、
ブラマー チョコレート カンパニー、
ハラルド、
フジオイル ヨーロッパ、
フジオイル ガーナ
- ※2：カテゴリ 1（購入した製品・サービス）：主な製品の原料及び容器包装を対象
- ※3：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.6)」、
「国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDEA Ver3.3」及び、事業者が作成した「算定手順書」
- ※4： 上記算定対象の検証された温室効果ガス排出量は別紙を参照

以上